身 体 検 査 票

札幌市人事委員会

※ 太枠内は受験者本人があらかじめ記載してください。

試験区分	受験番号	ふりがな				性別	生 年	平成	年	月		ı
消防吏員		氏 名				男・女	月日	1 7-20	年 18年4月		満	l 歳)
検 査 日 既往・現症	令和	年	∄ 日									
自 覚 症 状 他覚的所見												
身 長			c m	L					G 0	Т		
体 重			k g				肝機	能能	G P	Т		
視力	左裸眼・矯正	(いずれかに○) (いずれかに○) (いずれかに○)	(.)	血液	: 血中)	脂質	γ - G ' 中性脂 HDL コレステロ	肪			
	□所見なし								LDL コレステロ	コール		
色 覚 (石原式)	□所見あり (※ 赤,青,黄色の識)	別はできる 口(はい □いいえ □]不明			<u>m</u> .	糖般	赤血球血色素			
血圧測定		/	mmHg				口所.	ーーー 見なし				
尿 検 査	蛋 白 糖 ウロビリノーゲン				心電	図検査	□所.	見あり)			
聴力	右 1000Hz 4000Hz 1000Hz	正常 正常 正常	異常異常異常			接撮影 最影も可)	□所.	見なし見あり				
	左 4000Hz	正常	・異常									
総合判定	A 異常なし B 要経過観 C 要精密検 D 要治療 E 治療継続	察就	労の可否 (※)	П Ш IV	就労に問 就労に配 就労は困 その他 事項(Ⅱ	慮を要す 難		計合は、	、理由を記	己載願いま	す)	
上記のとおり 令和 年	診断します。		医療機関名 (所在地) (電話番号 担当医師名	;)						に対することで	: p	

[※] 消防吏員は原則として、1日24時間の交替制勤務で消火活動・救助活動・救急活動・防火指導などの業務に従事 します。就労内容等については、「身体検査の実施及び身体検査票の作成について」も併せて参照ください。

健康調査票(消防吏員)

現在、治療中	の病気・怪我等は	(あります)	か。			
□ない	r					
□ある →	病名等					
現在、四肢等に	こおいて機能的に	 支障のある	5症状(動かない) はあります
※現在、痛み	がないものも含み	ょます。				
□ない						
□ある →	部位、症状等					
過去の入院、	 治療歴等(外来的	 Jなものも1	含む)は	はありま		のも含みまっ
□ない						
□ある →	時期、病名等					
自覚症状につい	L vて記入してくださ	٠٠١٠)				
最近1か月0	D症状について、「	いつもある	」場合に	こは◎目	□、「時々ある」場合には○印を	、次の表の頻
に記入し、◎日	口に該当する場合に	ま、症状の治	経過欄に	具体的	に記入してください。	
なお、症状が	がない場合は、記刀	(不要です。	o			
また、 ★ 印0	O項目については、	最近1か	月に限ら	ず、記	入してください。	
部 位	症 状		頻度		症 状	頻度
頭	重い、痛い			そ	めまい、立ちくらみ	
首、肩、腕	痛い、しびれ	る			動悸、息切れ	
手首、指	痛い、しびれ	る		の	眠れない	
腰	痛い				★高所に不安を感じる	
下肢	痛い、しびれ	る		他	★暗所に不安を感じる	
目	疲れる、かす	む			★閉所に不安を感じる	
耳	耳鳴り、聞こ	えにくい				-
【症状の経過】						
	の方は、次の「はい	コにチェック	してくだ	さい。	□はい	
	23/3/10/(1/(1/2)//10//		0 4 (/4	C · 0	_10	
以上のとおり相]違ありません。					
試験区分(消防吏員)				
			がな			
受験番号(\ L	名()	

身体検査の実施及び身体検査票の作成について

札幌市人事委員会事務局

この身体検査票の持参者は、札幌市職員採用試験(消防吏員)の受験者です。次の点にご留意のうえ、診断していただきますようお願いいたします。

- 1 身体検査票の全項目について検査を実施し、「総合判定」及び「就労の可否」についてご記入ください(令和7年6月1日以降の検査結果が有効です)。
- 2 検査できない項目がある場合は、検査前に他の医療機関で検査するようお伝えください。
- 3 太枠内はあらかじめ記入されていることをご確認ください。
- 4 検査に必要な費用は、受験者本人の負担とします。
- 5 身体検査票が作成できましたら、受験者本人にお渡しください。なお、再検査が必要な場合は本人にお 伝えください。(その他、検査結果については受験者本人にご説明していただいてもかまいません。)
- 6 消防吏員の勤務形態には、交替勤務と毎日勤務があり、就労内容等については次のとおりです。
 - (1) 勤務時間等
 - ア 交替勤務をする職員(主に24時間体制で、出動に備える職員)
 - ・ 午前8時45分から翌日の午前8時55分まで (休憩時間は4時間の継続した睡眠時間を含む計7時間10分)
 - ・ 3週間当たりに6日の休みがあり、3つの係が24時間交替で勤務します。
 - イ 毎日勤務をする職員(主に月~金の平日に勤務し、出動しない職員)
 - ・ 午前8時45分から午後5時15分まで(休憩時間は午後0時15分から45分間)

(2) 就労内容

- ・ 交替勤務をする職員は、主に災害現場に出動し、消火活動、救急活動等を行います。防火衣、空気 呼吸器等の重量物を身に付け、活動します。
- ・ 毎日勤務をする職員は、主に建物に設置されている消火器、自動火災報知設備等の点検を行うなど、 火災予防に関する業務があります。

また、人事・設備・財政に関する総務関係業務等もあります。

・ その他、市民からの 119 番通報を受付ける指令業務や、火災の原因を調査する火災調査業務等があります。

※ 消防学校入校について

採用後は、約半年間、全寮制の消防学校へ入校し、消防吏員に必要な知識と技術を学ぶため、平日午前8時45分から午後5時15分までの間、座学や訓練(消火活動、救急活動等)を行います。 約半年間の消防学校生活を終えると、原則、災害現場に出動する交替勤務の職場に配属されます。